

平成24年10月採択
博士課程教育リーディングプログラム
複合領域型（生命健康）

グローバルな健康生命科学パイオニア
養成プログラムHIGO

(HIGO ; Health life science: Interdisciplinary and
Glocal Oriented)

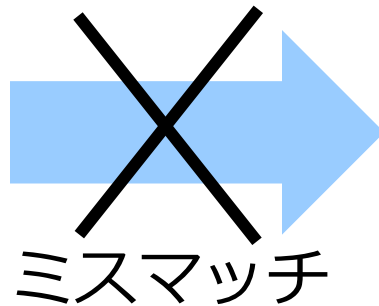
略称：HIGOプログラム

医学教育部と薬学教育部において、行政（熊本県・熊本市等）、
企業・産業界の協力と本学社会文化科学研究科の協力のもと、
平成24年度から平成30年度に実施する新大学院教育コース

既存の生命科学系大学院の問題点と HIGOプログラムによるその解決

既存の大学院で
育成される人材

高度の専門的知識
欧米志向の国際化
社会性の欠如

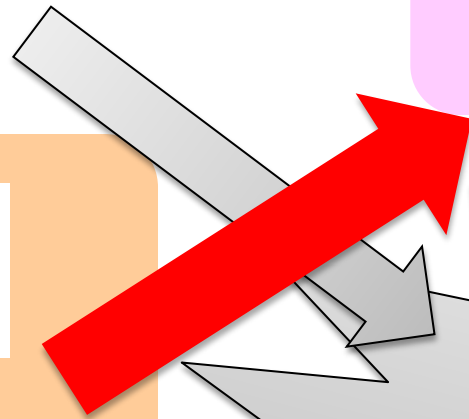


社会(行政・産業界)が
求める人材

専門的知識を生かして
地域医療行政や
企業のアジア進出を
推進できるリーダー

HIGOプログラム
で育成される人材

高度の専門的知識
アジア志向の国際化
アジア・地域社会の仕組み
産業界のニーズを理解



ポスドクの余剰

高学歴ワーキングプアー

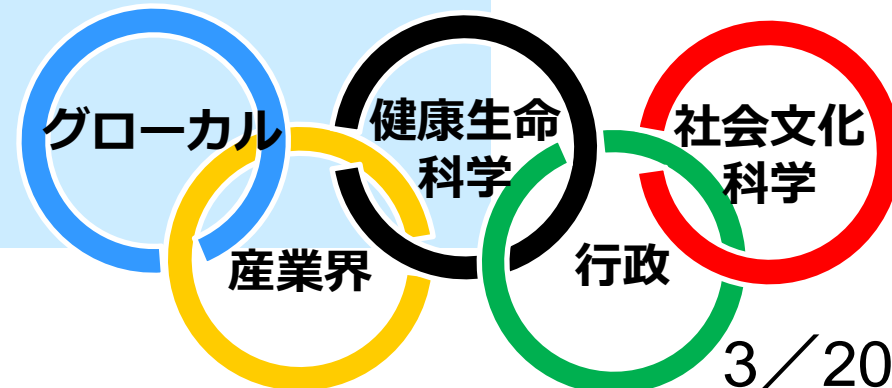
HIGOプログラムの特徴

養成するリーダー像

地域・アジアのニーズを理解し、地域や世界と協働して、
地域課題解決に挑戦できる
グローバルな健康生命科学パイオニア

プログラムの特徴

- ✓ 健康生命科学の専門家
- ✓ 九州・アジアを中心にグローバルに展開
- ✓ 行政・産業界と連携して育成
- ✓ 熊大のアジア戦略を活用
- ✓ 社会文化科学にも精通



健康生命
科学

大学院先導機構

医学教育部

薬学教育部

10年間のCOE基盤
(発生医学研究所)

糖尿病、代謝、生活習慣病、
がん免疫、酸化ストレス、
分子遺伝学、社会医学、
地域医療、創薬基盤、分子設計、
薬物送達、医薬品の臨床研究

完全英語化
国際競争力のある人材育成
世界水準の細胞系譜制御研究
「発生再生医学」研究
国外研究機関（アジアなど）との連携

国際最先端の健康生命科学教育

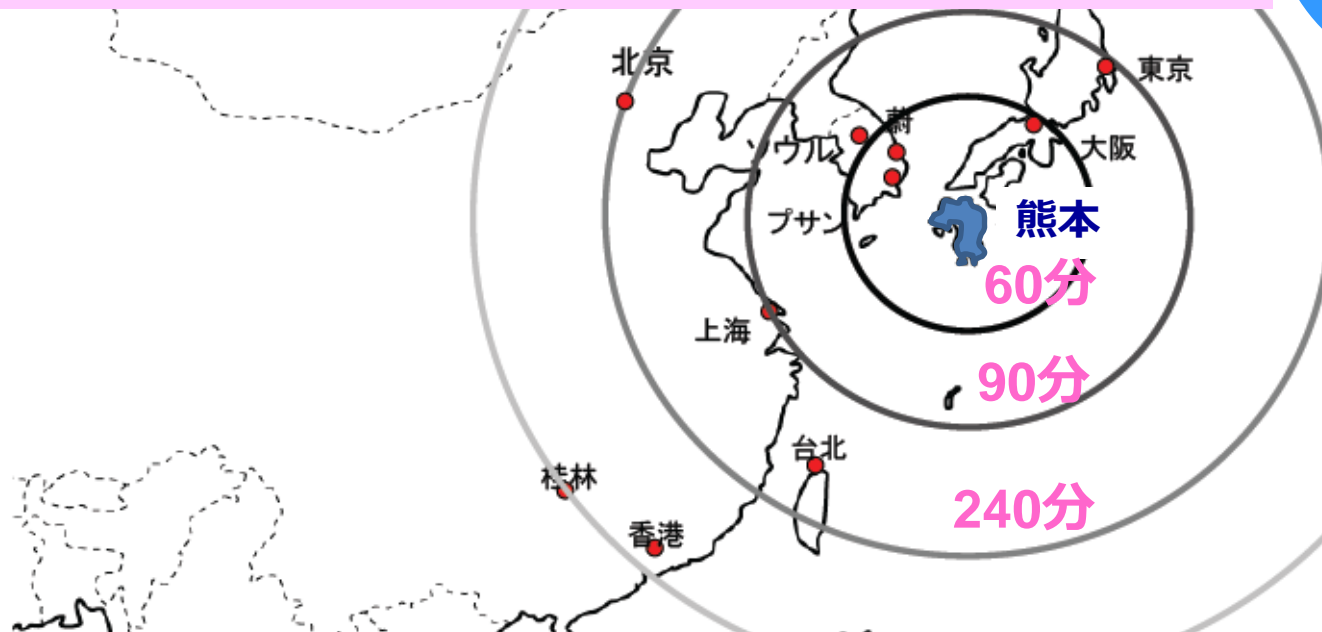
プログラムの特徴2

九州・アジアのグローバルに展開

- アジアでは、健康生命科学の人材が不足
- ヘルスケアの領域において市場性が高い
- 新興国への進出・交流は日本の若者に重要

グローバル

健康生命
科学



九州企業の海外進出先の8割がアジア

求められる能力

地域社会とアジアのニーズを捉える能力
アジア諸国の歴史・文化・言語への理解

プログラムの特徴 3 行政・産業界と連携して育成

熊本県知事 蒲島郁夫

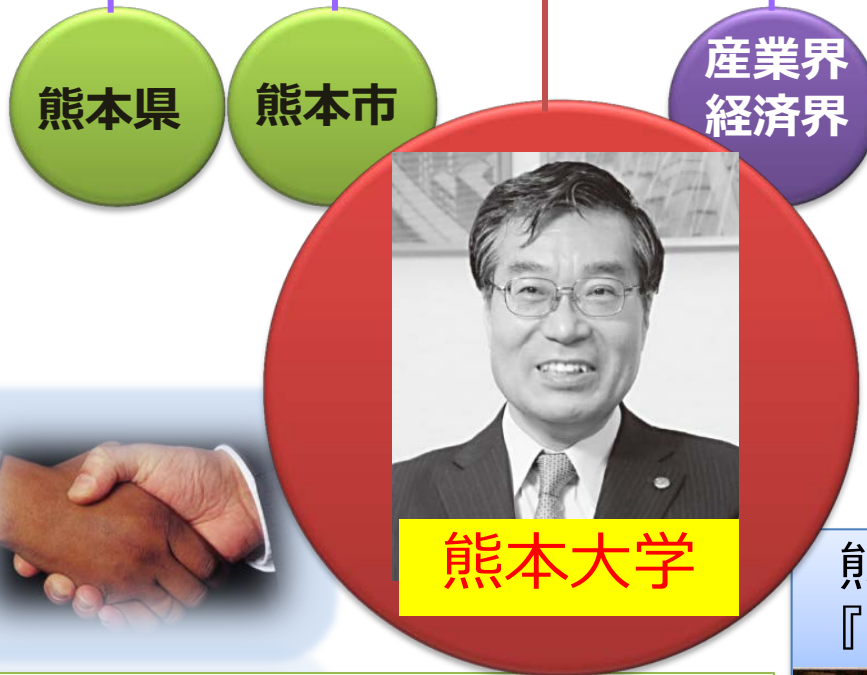


国際政治学者

熊本市長 幸山政史



くまもと都市戦略会議



熊本大学

学長主導で
地域の行政・産業界
トップメンバーと連携

熊本知識者円卓会議
『熊本版ダボス会議』



グローバル社会のニーズを理解

プログラムの特徴 4

熊本大学のアジア戦略を活用した 海外インターンシップ

- 熊本大学フォーラム

上海、テジョン、スラバヤ、ハノイ、熊本で開催

- 海外オフィス

中国（上海、大連、山東大学）、
韓国（KAIST）、インドネシア（ITS）

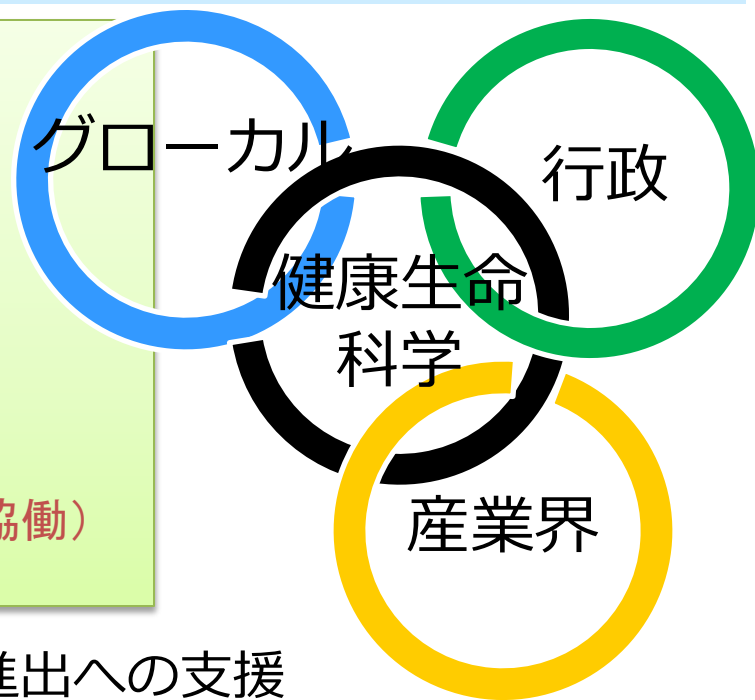
- 熊本上海事務所 （熊本県・熊本市との協働）



熊本上海事務所

輸出入、企業の中国進出への支援
交流支援、留学生誘致
中国の教育研究機関との連携

海外医療行政・アジア諸国の健康産業の
ニーズなどを知る実践的な機会



熊本大学
政策創造研究教育センター
公共政策学

熊本大学
社会文化科学研究科

社会文化科学
比較文化学
医療紛争解決学

英語・中国語など
比較行政論
生命倫理学
経済、経営学
医療経済学

社会文化
科学

健康生命
科学

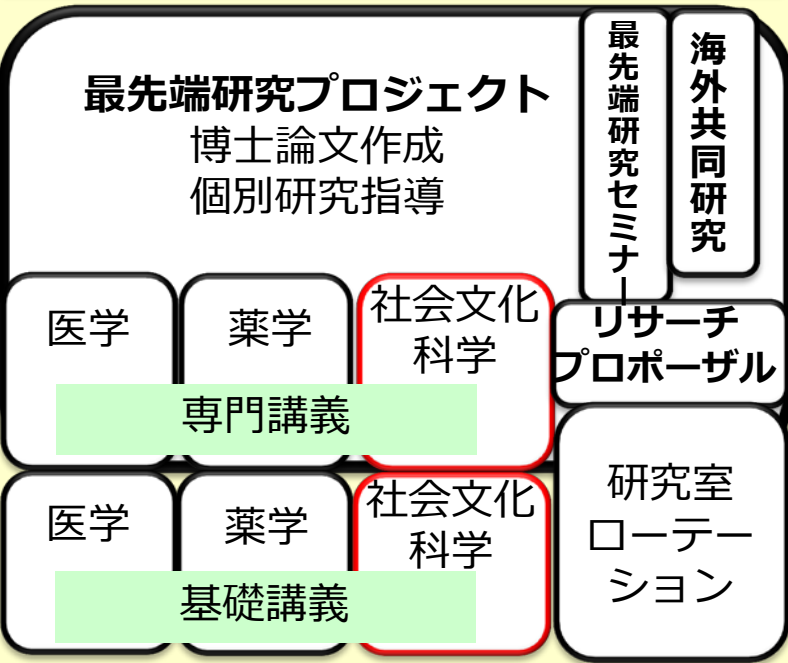
日本とアジア諸国との
社会制度・価値観・歴史・文化の違いを理解し
異文化コミュニケーション力を養成

HIGO プログラムの 内容

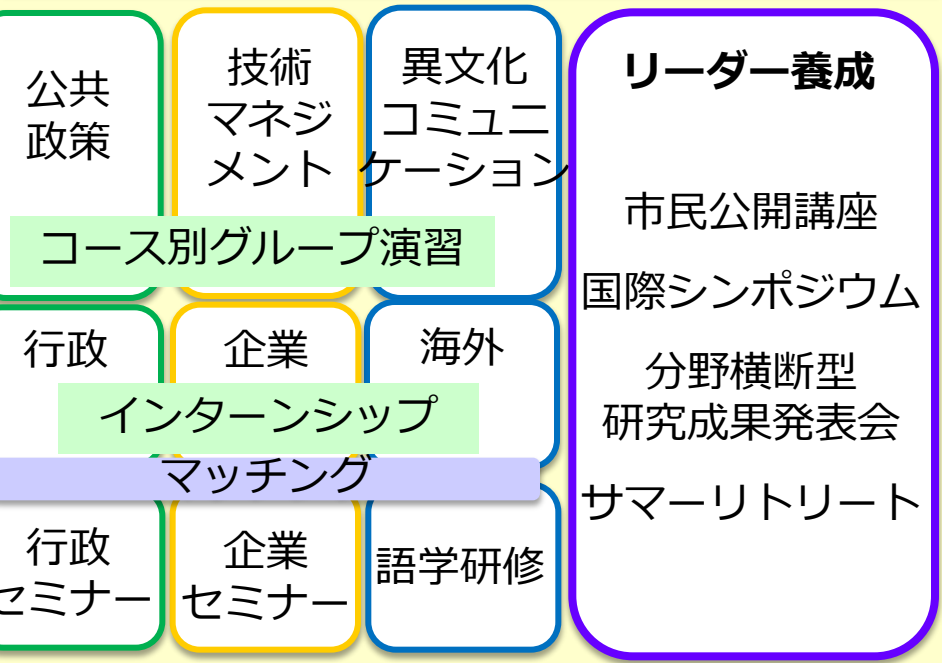
グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラムHIGO
(HIGO ; Health life science: Interdisciplinary and Global Oriented)

健康生命科学パイオニアコース

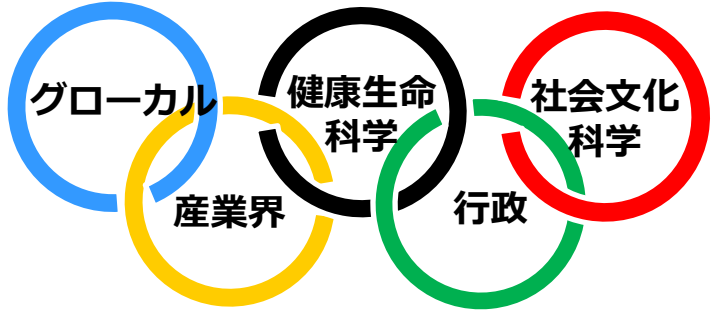
国際最先端の健康生命科学プログラム



大学と行政・産業界との連携



4年制学部
卒業生
6年制学部
卒業生
社会人学生



留学生4割

HIGOプログラムの実施体制

制

国際最先端の
健康生命科学

医学教育部・薬学教育部
プログラムメンバー
特任教員

国内外の専門分野の
第一人者

最先端研究セミナー

社会文化科学研究科
政策創造研究教育センター
プログラムメンバー
特任教員

グローバル社会科学

行政セミナー

熊本県知事
熊本市長
熊本日日新聞社論説委員

企業セミナー

(財)化学及血清療法研究所、同仁化学研究所(株)、
第一三共(株)、トランスジェニック(株)、
熊本県健康サービス産業協議会、プロジェクター(株)、
イムノキック(株)、味の素(株)、
小野薬品工業(株)、久光製薬(株)、沢井薬品(株)、
持田製薬(株)、大正製薬(株)、新日本科学(株)など

グローバルな
健康生命科学
パイオニア

学長
県知事・市長

県知事
市長

熊本経済同友会代表幹事
熊本商工会議所会頭
九州地域バイオクラスター
推進協議会会長

行政インターンシップ

県庁、市役所、医療機関、
保健所、中央官庁

熊本県保健環境科学研究所、
熊本県後発医薬品安心使用・啓発協議会
熊本市環境総合センター
厚生労働省、環境省など

熊本上海オフィス
中国、台湾、韓国、欧米などの
協力大学・研究機関

ジョージア州立大学(米)、セント・ジョーンズ大学、ロチェスター大学(米)、
トリニティーカレッジ・ダブリン(アイルランド)、ロンドン大学(英)、
アカデミア・シニカ(台湾)、モナッシュ大学(オーストラリア)、
Ligand Pharmaceuticals, Inc.(米) など

海外インターンシップ

九州地域・熊本県下の企業
ベンチャー企業
国内企業

企業インターンシップ

(財)化学及血清療法研究所、トランスジェニック(株)、熊本県健康サービス産業
協議会、プロジェクター(株)、イムノキック(株)、第一三共(株)、味の素(株)、
小野薬品工業(株)、久光製薬(株)、富田薬品(株)、沢井製薬(株)、
持田製薬(株)、大正製薬(株)、新日本科学(株)、
熊本日日新聞社(株)、など

HIGOプログラムの特徴のまとめ

- ✓ 健康生命科学の専門家
- ✓ 九州・アジアを中心にグローバルに展開
- ✓ 行政・産業界と連携して育成
- ✓ 熊大のアジア戦略を活用
- ✓ 社会文化科学にも精通

地域・アジアのニーズを理解し、地域や世界と協働して地域課題解決に挑戦できるグローバルな健康生命科学の人材を輩出

保健行政や医療行政
に携わるリーダー

アジアに展開す企業
で活躍するリーダー

生命健康科学分野で
企業するリーダー



健康生命科学者の新たなキャリアパスの開拓
グローバル社会の活性化

産 - SAN -

田川 憲生	熊本商工会議所・会頭(ホテル日航熊本・社長)
甲斐 隆博	熊本経済同友会代表幹事(肥後銀行頭取)
井芹 道一	熊本日日新聞社・文化生活部長兼説委員
佐々本 一美	株式会社同仁化学研究所・常務取締役
前田 浩明	一般財団法人 化学及血清療法研究所 研究推進部 部長
玉井 馨子	第一三共株式会社 研究開発本部 癌研究所 主任研究員

官 - KAN -



熊本県知事
浦島郁夫



熊本市長
幸山政史

HIGOプログラムコース生になるために、**プログラム担当教員**の分野に所属する必要はありません。**HIGOプログラムは、医学教育部・薬学教育部のどの分野に所属する院生も履修可能です。**

学 - GAKU -

プログラム責任者



竹屋 元裕

プログラムコーディネーター



糸 昭苑

中尾 光善	大学院医学教育部・医学専攻・医科学専攻・教授	赤池 孝章	大学院医学教育部・医学専攻・医科学専攻・教授
西村 泰治	大学院医学教育部・医学専攻・医科学専攻・教授	荒木 栄一	大学院医学教育部・医学専攻・医科学専攻・教授
富澤 一仁	大学院医学教育部・医学専攻・医科学専攻・教授	山縣 和也	大学院医学教育部・医学専攻・医科学専攻・教授
大塚 雅巳	大学院薬学教育部・創薬・生命薬科学専攻・教授	加藤 貴彦	大学院医学教育部・医学専攻・医科学専攻・教授
甲斐 広文	大学院薬学教育部・創薬・生命薬科学専攻・教授	遠藤 文夫	大学院医学教育部・医学専攻・医科学専攻・教授
上野 真也	政策創造研究教育センター・教授	尾池 雄一	大学院医学教育部・医学専攻・医科学専攻・教授
安川 文朗	大学院社会文化科学研究科・人間・社会科学専攻・教授	黒田 豊	医学部附属病院・特任教授
小椋 光	大学院医学教育部・医学専攻・医科学専攻・教授	入江 徹美	大学院薬学教育部・医療薬学専攻・教授
西中村 隆一	大学院医学教育部・医学専攻・医科学専攻・教授	山縣 ゆり子	大学院薬学教育部・創薬・生命薬科学専攻・教授
小川 峰太郎	大学院医学教育部・医学専攻・医科学専攻・教授	有馬 英俊	大学院薬学教育部・医療薬学専攻・教授
佐々木 洋	大学院薬学教育部・創薬・生命薬科学専攻・教授	丸山 徹	大学院薬学教育部・医療薬学専攻・教授
宋 文杰	大学院医学教育部・医学専攻・医科学専攻・教授	高橋 隆雄	大学院社会文化科学研究科・人間・社会科学専攻・教授
田中 英明	大学院医学教育部・医学専攻・医科学専攻・教授	小野 友道	熊本保健科学大学・学長 九州地域バイオクラスター推進協議会・会長

4年制学部卒業生

(医)修士課程、(薬)博士前期課程入学

「HIGOプログラム 基礎コース」選抜試験

講義科目(基礎、専門)

セミナー(行政、企業)

語学研修

インターンシップ(行政、企業、海外についてそれぞれ履修する)

研究室ローテーション(実習)

最先端研究プロジェクト(研究指導)

進学試験(正規)

Qualifying Examination

(「HIGOプログラム」専門コース選抜試験を兼ねる)

修士論文審査 [修士(健康生命科学)]

(医)博士課程、(薬)博士後期課程進学

「HIGOプログラム 専門コース」進学

セミナー(行政、企業)

語学研修

インターンシップ(行政、企業、海外の何れかを選択)

最先端研究セミナー

最先端研究プロジェクト(研究指導)

博士論文中間審査

キャリアビジョン開発コース

(異文化コミュニケーション学習コース)

(技術マネジメント学習コース)

(公共政策学習コース)

博士論文審査 [博士(健康生命科学)]

6年制学部卒業生

((医)(薬)博士課程(4年)入学

「HIGOプログラム 4年コース」選抜試験

講義科目(基礎、専門)

セミナー(行政、企業)

語学研修

インターンシップ(行政、企業、海外の何れかを選択)

研究室ローテーション(実習)

Qualifying Examination

最先端研究セミナー

最先端研究プロジェクト(研究指導)

博士論文中間審査

キャリアビジョン開発コース

(異文化コミュニケーション学習コース)

(技術マネジメント学習コース)

(公共政策学習コース)

博士論文審査 [博士(健康生命科学)]

HIGO単位配分

(1) HIGOプログラム基礎コース単位配分

科目	単位数
基礎講義(医/薬、社)、専門講義(医/薬、社)	16
研究室ローテーション(実習)	2
最先端研究プロジェクト(研究指導)	8
行政セミナー(演習)	1
企業セミナー(演習)	2
語学研修(演習)(日、英、中から2カ国語)	2
行政インターンシップ(実習)	1
企業インターンシップ(実習)	1
海外インターンシップ(実習)	1
合計	34

(2) HIGOプログラム専門コース単位配分

科目	単位数
行政セミナー(演習)	1
企業セミナー(演習)	2
語学研修(演習)(日、英、中から2カ国語)	2
行政インターンシップ(実習)	何れか3科目 選択 (3単位)
企業インターンシップ(実習)	
海外インターンシップ(実習)	
研究プレゼンテーション(演習)	
キャリアビジョン開発コース(演習)	6
最先端研究セミナー(演習)	6
最先端研究プロジェクト(研究指導)	10
合計	30

医学教育部・薬学教育部で開講する講義科目は、それぞれ現在開講している科目を、科目名にHIGOを付した科目名で活用します。修士課程・博士前期課程の科目も留学生のために英語対応します。

(3) HIGOプログラム4年コース単位配分

科目	単位数
基礎講義(社)、専門講義(医/薬、社)	7
研究室ローテーション(実習)	1
行政セミナー(演習)	1
企業セミナー(演習)	1
語学研修(演習)(日、英、中から1カ国語)	1
行政インターンシップ(実習)	何れか3科目 選択 (3単位)
企業インターンシップ(実習)	
海外インターンシップ(実習)	
研究プレゼンテーション(演習)	
キャリアビジョン開発コース(演習)	6
最先端研究セミナー(演習)	2
最先端研究プロジェクト(研究指導)	10
合計	32

奨励金

コース履修生で奨励金の受給を希望する学生は、年度単位で申請する。コースの履修状況を勘案し、審査のうえで決定する。額については、別途定める（年度毎に変動する可能性あり）。

※奨励金を受給できないコース履修生でもTA雇用できる場合がある。

インターンシップ

コース履修生のインターンシップ派遣に必要な旅費を支給する。

研究費

コース履修生の最先端研究プロジェクトをサポートするための研究費を支給する。

研究成果発表

コース履修生の研究成果発表にかかる費用(学会参加費、学会旅費、英文校閲費、論文投稿料、特許出願費用)を支給する。

留学生支援

外国人研究員等がメンターやリクルーターとして支援

熊本大学に在籍する外国籍の教員が出身国に短期滞在し、優秀な学生をリクルートし、本学入学後もアドバイザーとして活動するような仕組みを構築する。

キャリア支援

「イノベーション推進人材育成センター」および「キャリア支援ユニット」との連携を強化する。

博士課程教育リーディングプログラム

『グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラムHIGO』

履修者選抜

選抜試験の実施方法と評価基準

選抜試験	実施方法	評価基準
HIGOプログラム 基礎コース	・英語 (TOEFL-ITP) ・小論文(医・薬専門領域と社会文化科学の素養を要する内容) ・面接試験	●研究に意欲を持つ ●進路に関する明確なビジョンを持つ ●医・薬専門領域と社会文化科学を学習する素養と意欲がある
HIGOプログラム 4年コース		

コース履修生

- 定員内コース生**：奨励金を受給して本コースを履修する学生。医・薬学教育部の全コース合わせて年度ごとに20名。
- 定員外コース生**：奨励金を受けないが、本コースを履修する学生。奨励金と重複して受給できない他の奨学金等を受けている学生（たとえば、日本学術振興会特別研究員）等。
- 準コース生**：本コースを全部履修せずによりのみ（基礎/専門講義（社）、行政セミナー、企業セミナー、インターンシップ、キャリアビジョン開発コースの何れかを期間内に3単位以上）履修する学生。履修願いを審査して許可する。
- 資格確認のため、コース履修生は年度ごとに申請書を提出する。
- 「定員内コース生」「定員外コース生」は、**本プログラムを修了したことを学位に付記する。**

平成24年度
博士課程教育リーディングプログラム
『グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラムHIGO』
履修者選抜

1. 募集人員

20名(奨励金を受給できる定員は20名ですが、一定の基準を満たす場合は、定員外の履修を認めます)

2. 出願資格

平成24年度に以下のいずれかの専攻に入学した者

医学教育部修士課程医科学専攻

薬学教育部博士前期課程創薬・生命薬科学専攻

医学教育部博士課程医学専攻

薬学教育部博士課程医療薬学専攻

平成24年度 博士課程教育リーディングプログラム 『グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラムHIGO』 履修者選抜

3. 出願手続

(1) 出願書類受理期間

平成24年12月3日(月)から12月5日(水) 17時(必着)

(2) 出願書類提出方法

出願書類一式は、**学生所属の教務担当に持参または郵送(学内便も可)**してください。

4. 出願書類等

提出書類等	摘 要
志 願 票	所定の様式に記入してください。
写真票・受験票・住所票 写真(1枚)	縦4cm×横3cm、上半身脱帽正面向き、出願前3か月以内に撮影した写真を貼ってください。
志望理由書	所定の様式に記入してください。
指導教員の同意書	A4サイズで様式は任意です。
受験票返送用封筒	長形3号(23.5cm×12cm)の封筒にあて先を明記し、80円分の切手を貼ってください。 学内の方は、学内使用の封筒でも結構です。
奨励金申請書	奨励金の受給を希望する者は必ず提出して下さい。

平成24年度 博士課程教育リーディングプログラム
『グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラムHIGO』
履修者選抜

5. TOEFL-ITP受験料

4,160円(当日、試験会場にて現金で、お支払いください)

6. 選抜方法

試験日:平成24年12月10日(月)【8時50分までに集合】

会場:熊本大学薬学部(熊本市中央区大江本町5番1号)

試験科目等

(1)英語試験(TOEFL-ITP) 9時～11時20分

(2)小論文 12時30分～14時

(3)面接 14時20分～(1人20分程度)

※机上には、受験票、筆記用具、消しゴム、時計以外は置かない。

※英語試験時に辞書等は持ち込み禁止。

※小論文は、医・薬専門領域と社会文化科学の素養を要する内容。

7. 合格発表

12月27日(木)

※合格者に通知書を送付。医学教育部及び薬学教育部のウェブサイトに掲示。

平成24年度 博士課程教育リーディングプログラム 『グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラムHIGO』 履修者選抜

10. 奨励金制度について

本プログラムの履修生が、学業及び研究に専念するため、希望者に対して選考の上、奨励金(給付型)の支給を予定。受給者はこの試験で選考。

奨励金の概要

(1) 支給額(予定額: 予算の状況等によって今後変更されることがあります)

修士課程・博士前期課程 月額14万円

博士課程・博士後期課程 月額20万円

(2) 受給資格・遵守事項

- ・奨励金の受給期間中は本プログラムに所属し、教育研究に参加すること
- ・他の機関から奨学金・フェローシップ等の援助を受けていないこと

★重複して受給できない奨学金等

日本学術振興会特別研究員(DC)、日本学生支援機構の奨学金

外国人留学生: 日本政府奨学金、母国の奨学金、日本学生支援機構学習奨励費

大学独自の奨学金等

- ・受給期間中は、原則としてアルバイトを行わないこと

(3) その他: 奨励金は給与所得として課税(所得税及び住民税)の対象。

※なお、奨励金を受給できない者については、TA等による経済的支援も予定